

令和3年12月24日

学校運営協議会委員 各位

県立相模原総合高等学校  
校長 小松 巖

### 令和3年度 学校運営協議会について

先般、ご通知にてお知らせしました協議会は、次のとおりとなりましたので、ご報告を申し上げます。

#### <記>

日時	令和3年12月24日
場所	本校 大会議室
学校運営委員	9名(評価5名、地域4名) 校長・副校長・教頭 総括教諭4名
出席者	5名(評価3名、地域2名) 校長・副校長 総括教諭4名 記録1名

#### 議案

【第1号議案】 スクール・ポリシーの設定および公表

#### 添付資料

・会議録(写)

以上

## 令和3年度 第2回学校運営協議会 会議録

日時	令和3年12月24日
場所	本校 大会議室にて実施
学校運営委員	9名(評価5名、地域4名) 校長・副校長・教頭 総括教諭4名
出席者	5名(評価3名、地域2名) 校長・副校長 総括教諭4名 記録1名

### <議 事>

#### 【第1号議案】 スクール・ポリシーの策定について

新学習指導要領が令和4年度入学者から年次進行により完全実施されることから、その実施に合わせてスクール・ポリシーを作成し、公表することとなっている。資料に基づき、意見聴取を行う。

#### <主な指摘事項、質疑応答>

質疑：1. グラデュエーション・ポリシーの項目は、数字の①～③と順位づけをつける形式でなくてよいのではないか。

回答：数字①～③を用いる形式から「○」に変更いたします。

質疑：1. グラデュエーション・ポリシーにある「おもいやり」をあえて平仮名にした意味は何ですか。

回答：作成・修正を重ねる際に、より分かりやすく・印象を与える表現にすることを意識したため。

質疑：カリキュラム・ポリシーは城山高校に移った際にも引き継がれていくのか？(『夢』の実現に向けた進路指導など)

回答：県立高校改革(再編・統合)に係る準備委員会にて要望として伝える。

意見：現在も行われている教育活動を見ると、実施計画から実践まできちんと行われている。

特に、地域との連携が素晴らしく、築き上げてきた関係をこれからも大切にしていきたい。

#### <その他>

#### 4. 課題研究スーパー発表会の講評

- ・ 研究内容はどれも興味深いものが多かった。
- ・ テーマの奥深さに驚いた。経験を発表に取り入れていて感心。親の行動が子どもへ与える影響はそのとおりだと感じた。個人的には「香りの研究」が興味深かった。
- ・ 6人の発表はどれも素晴らしかった。自身の経験から「ごっこ遊び」の内容は共感できた。遊びから学ぶことが多いことに改めて気づかされた。走り方の研究・認知症の研究など印象に残っている。
- ・ 他校の発表と比較して、相総生の個人のプレゼン力の高さが際立っていると感じた。先生方の指導のおかげだと思っている。課題研究のノウハウを城山高校へ引き継いでほしいと感じた。

#### 5. 連絡事項

- ・ 課題研究の映像資料はYoutubeリンクを作成する予定。
- ・ 次回の会議日程について(3月10日)
- ・ 令和4年3月2日卒業式 / 令和4年12月15日完校式 / 完校事業(横断幕、垂れ幕、学校開放)

以上の議案をもって会議を終了とする。